



本コースでは、Business Partner (BP)のテキストを使ってレッスンを受けます。
このテキストにはオンライン教材もあります。テキスト表紙の裏に生徒アクセスコードがあります。
コインなどで銀色の部分を削るスクラッチタイプとシールタイプとがあります。そのコードを入力することでStudent Portalにアクセスができるようになります。音声や動画を視聴することが可能ですので是非活用しましょう。

レッスンの効果を確実に高めるため、Pre-study(事前学習)をしてからレッスンに臨みます。
事前学習の種類について下記に説明があります。各レッスンの学習内容は巻末の表で確認しましょう。

Pre-study(事前学習)について:

事前学習の種類:

1. 音声学習ービデオ(学習表には”VIDEO”と表示)/Listening

音声を事前に聞き、Exerciseがあればそれをやっておきます。

その後、リピーティングトレーニングをします。具体的な方法については、巻末「リピーティングトレーニングの進め方」を参照してください。

2. Exercise

レッスンページの指定されたExerciseの問題です。意味が分からない単語やフレーズがあれば調べ、問題をやっておきましょう。レッスンで確認、答え合わせをします。

3. 意味理解

意味の分からない単語やフレーズの意味を調べ、文章の意味を理解しておきます。課題該当箇所は基本的にこの意味理解はしておくようにしましょう。

※上記3点について補足事項がある場合、また上記以外の学習を課す場合には表内に説明がありますので確認しましょう。

1. 音声学習方法

音声学習は主に、テキストに動画、リスニング音声がついている箇所を指しています。音声はただ「聞く」だけでなく以下のステップを経て学習しておくことが重要です。

①音声学習方法のステップ

1. まず観る・聞く
理解度を確認する



語彙を調べたり、スクリプトを確認したりせず、動画を観て/音声を聞いて、どの程度理解できるかを確認しましょう。

2. 精聴
スクリプトを見ながら聞く



今度はスクリプトを開き、目で追いながら音声を流します。1. で聞き取れなかった箇所でも、文字で書いてあればわかるところもあるでしょう。

3. 意味理解
語彙を調べて語彙リスト化



意味が分からない単語/フレーズを調べて、意味を理解します。調べっぱなしにせず、語彙リスト※に追加します。※エクセル等でリスト化しましょう

4. ひたすらリピトレ
リピートトレーニング



トレーニングのステップに沿って正しい方法でリピトレします。

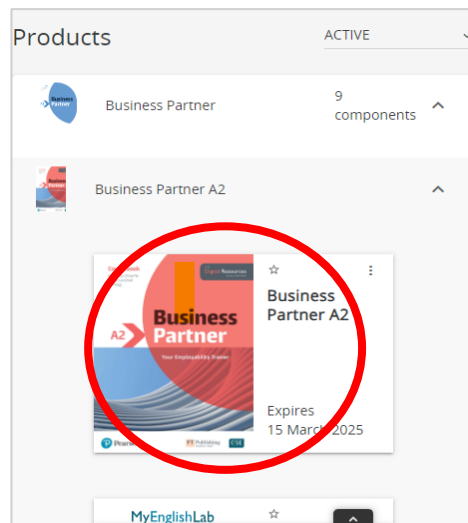
リピートトレーニング:

事前学習には英語のリスニング力を高めるのに最適なリピートトレーニングがあります。上記の4. に該当します。リピートトレーニングは、ジムのワークアウトと同じで、継続して日々続けることが最も成果が高いことがわかっています。レッスンを受けた翌日から次のレッスンに向けて、少しずつトレーニングを開始するのが理想です。このトレーニングは1日5分、通勤時間や隙間時間を活用できる有効な学習方法です。習慣づけることで飛躍的なスキルアップが期待できます。少しずつで良いので、止めずに続けること。これがポイントです。効果に大きな差が出てきますので巻末の「リピートトレーニングの進め方」をしっかりと理解してください。とても重要なトレーニングなので、最初のレッスンでもこのリピートトレーニングについて練習します。

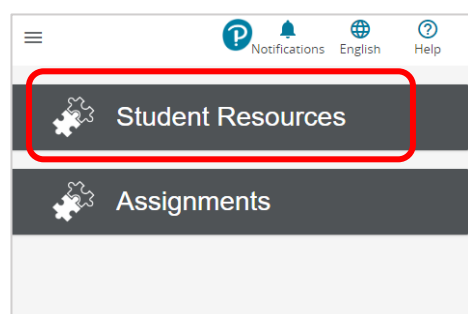
② ポータルでの音声、ビデオの視聴やスクリプトの確認方法

(1) PearsonのPortalアカウントを作成します。教材表紙裏に案内があります。アカウントを作成したら、受講レベルの教材をアクセスコードを記入し、追加します (PearsonのHP内に[Pearson English Portal 生徒用 スタートガイド]がございます)。教材のポータルトップ画面が表示されます。

教材を追加すると、該当のテキスト名が表記されているアイコンが表示されますので(赤枠) クリックし、選択します。



(2) 「Student Resources」をクリックし選択します。

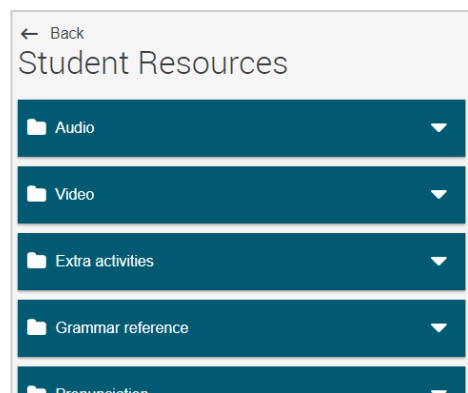


(3) レッソンの予習やリピーティングトレーニングでは以下を使います。

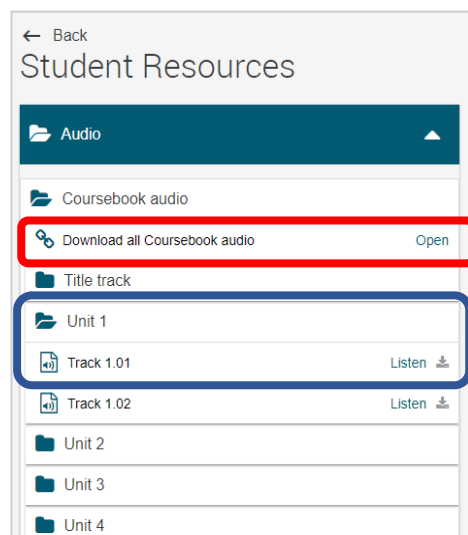
-Audio: 音声-リスニングエクササイズで
使用する音声、スクリプト

-Video: 動画-VIDEOエクササイズで
使用する動画、スクリプト

※スクリプトは教材巻末にもございます。



(4) Audioの場合には、聞きたいUnit(青枠)を開くとTrackが表示されます。ストリーミング再生も可能ですし、ダウンロードして聞くこともできます。また、すべての音声を一括ダウンロードすることも可能です(赤枠)。



2. Exercise

事前学習で指定されたExercise(Ex.と表記)をやっておきましょう。レッスンで確認、答え合わせをします。

1.1 Daily tasks

Lesson outcome Learners can describe work activities and tasks.

Lead-in 1A Match the photos (A-D) with the correct jobs (1-8).

A B C D

- 1 Production Engineer
- 2 Sales Manager
- 3 Sales Assistant
- 4 Digital Designer
- 5 Admin Assistant
- 6 Finance Officer
- 7 Project Manager
- 8 IT Specialist

Which of the jobs in Exercise 1A do people do where you work?

Vocabulary Job and tasks

2A Read about two jobs. Choose a job from Exercise 1A to complete the descriptions.

I'm a(n) _____ . I'm responsible for a team of five people. They often have meetings

—Lesson outcomes:レッスンの目標を確認します。レッスンの冒頭でも講師が目標について言及しますので、意味が分からない場合には調べて理解しておきましょう。

—Exercise: 事前学習表にはEx. と表記してあります。それぞれのExerciseの指示文に従ってください。

該当のExerciseはレッスンの中で扱うことを意味しています。その場で答えるのではなく、なるべく事前に準備をしておいた方がスムーズにレッスンが進行します。どうしても時間がない時には予習なしでレッスンに臨むことも可能ですが、最低限質問文とわからない意味だけは調べておく習慣をつけるよう心がけると良いでしょう。

このコースのテキストは洋書なので、指示文もすべて英語です。

指示文の特徴は「命令文」です。すなわち、文章の最初が「動詞＝～しましょう」という形なので、まず文頭の動詞の意味を理解すると何をすべきか、がわかりやすいです。

Exerciseには、あなた自身のことについて答える場面が多くあります。

やりやすい方法で構いませんが、事前にキーワードや何を答えようか、考えておくと良いでしょう。英語で聞かれてキーワードだけで返答ができそうにない場合には、慣れるまで英文をノートに書いて準備をしておく安心です。それが正しければ先生に通じますし、間違っていたら直してくれます。徐々に準備する箇所を減らし、キーワードだけをメモしてそれを見ながらレッスンでは文章にして解答する、というトレーニングをしてみましょう。脳内で英語化できる回路を作っていくイメージです。

その他、Exerciseと表記のあるものにはRead、Match(合うものを選ぶ)など、パターン化されていますので次第に慣れていくでしょう。

※事前学習表には最初のレッスンには説明がありますので参考にしてください。

※各レッスンの最後で、講師から次レッスンのHomeworkが出されます。これは事前学習表の内容と同じです。もし、何をしたら良いか疑問に思う箇所があれば、講師に聞いておくと良いでしょう。

3. 意味理解

意味の分からない単語やフレーズの意味を調べて、文字通り「意味を理解しておく」ことを習慣化します。オンライン辞書でも構いませんが、単語の場合には名詞、動詞など、「品詞」まで調べておくが良いです。また、調べっぱなしにせず、エクセルやGoogleスプレッドシートなどに、一覧にしておくことが重要です。一覧にすることで何度も同じ単語を調べなくても良いことと、蓄積しておけば一覧で見返すことができ、かつシートを有効活用して単語学習にも活かせることが主な理由です。

VIDEO学習について:

次に、このコーステキストの特徴である、VIDEO学習について説明をします。

このコースには動画を使ったレッスンがあります。各Unitに2つのビデオレッスンがあります。

1. Real world video: 実際のビジネスの場面からキーボキャブラリーを使った学習動画(各UnitのLesson1に収録されています)

2. Dramatized video: ドラマ形式の動画(各UnitのLesson4に収録されています)

このレベル2のコースでは、Sleekという小さなファッションデザイン企業が舞台となっています。イギリスや西欧を中心に店舗展開とデパートでも商品販売をしています。登場人物(character)や各Unitの動画の要約(summary)がテキスト(p.6)にありますので受講前に読んでおきましょう。

それでは、レッスンを有意義に、かつ楽しんで続けてくださいね。

レッスンでわからないことがあれば、講師に積極的に聞いてください。

あなたのためのマンツーマンレッスンです。

英語学習は、楽しんで習慣化できる人ほど早く成長することがわかっています。頑張りましょう！

事前学習表:

※レッスンでは下記Homeworkに該当する箇所を扱います。受講生の進度に応じ扱う範囲は異なります点、ご了承ください。

LESSON	Lesson No.	Lesson topic	Page No.	Homework
1		Orientation	-	-事前学習表のリピーティングトレーニングの箇所を特にしっかり読んでおきます。 -レッスン冒頭に自己紹介ができるように何を言うか考えます。 ※ボキャブラリー:意味がわからない単語/フレーズを指します。日本語での意味を調べます。 調べる際にはオンラインサイトでは英辞郎などがおすすめです。文章作成能力を養成することが重要な為、翻訳アプリだけに頼るのはおすすめできません。 フレーズ単位で身に付けていくのが良いでしょう。
2	1.1	Daily tasks	Page 08, 09	-Exercise3 (Ex.3): レッスンでEx.3を学習します。以下、Ex.と表記のある問題については同様です。レッスンでは問題をやってきたことを前提に進めます。このExerciseでは頻度を聞く質問に対し、答えられるようにするのが目的です。1-10までの意味を理解し、レッスンでこれらの質問に答えられるように応答の文を作っておくなど、準備をしましょう。 -VIDEO: 音声学習 1. Ex.6A: ビデオを2回見ます(1回目:何も見ずに、2回目:スクリプトを見ながら)。 問題を解きます。 2. スクリプトを見ながら、ボキャブラリーを調べます。 3. リピーティングトレーニング:オーバーラッピングができるようになるまで繰り返します。
3	1.2	A work plan	Page 10, 11	- Lead-in: Exerciseと同様の準備をしましょう。レッスンで聞かれる質問や問題に答えられるようにしておきます。以下、同様です。 - Ex.3:問題を解きます(以下、説明がなければ同様です) - Ex.6: 音声を聞いて質問に回答します。音声学習
4	1.3	A survey	Page 12	- Lead-in - Ex.2A: 問題に答えましょう。 - Ex.2B, 2C: 問題はレッスンで扱いますので意味理解をしておきましょう。
5	1.4	Work skills: Talking about people and roles	Page 14	- VIDEO: 音声学習 1. Ex.2A:ビデオを2回見ます(1回目:何も見ずに、2回目:スクリプトを見ながら)。 問題を解きます。 2. スクリプトを見ながらボキャブラリーを調べます。 3. Ex.2B 2Cに解答します。 4. リピーティングトレーニング:オーバーラッピングができるようになるまで繰り返します。
6	1.4	Work skills: Talking about people and roles	Page 16	- Speaking:ボキャブラリーチェックをします。 - Ex.3A: 問題を解きます。
7	1.5	Business workshop: We want to meet you	Page 16	- Ex.4A :問題を解きます。
8	2.1	Orders and deliveries	Page 19	- VIDEO: 音声学習 - Ex.7A, 7B, 7C.
9	2.2	Placing orders on the phone	Page 20, 21	- Ex.5:意味理解
10	2.3	Email enquiries	Page 22	- Lead-in: Ex.1A:意味理解、Ex.1B: 自分の回答をレッスンで言えるように準備します。 - Ex.2: 問題に答えます。
11	2.4	Work skills: Making agreements	Page 24	- VIDEO: 音声学習 - Ex. 2:問題に答えます。
12	2.4	Work skills: Making agreements	Page 25	- Lead-in: 意味理解 - Speaking: “Making agreements” の意味理解、続いてExercise 5 and 6をするためにp.117, 120, 122. の意味理解をします。
13	2.5	Business workshop: Planning a work party	Page 26	- Speaking: 意味理解。Ex.4A, 4Bのロールプレイの準備ー意味理解、音読練習
14	3.1	A company's story	Page 28, 29	- VIDEO: 音声学習
15	3.2	New office	Page 30, 31	- Lead-in: Ex.1の質問に答えます。 - Ex.4: 問題を解きます。 - Ex.5A:音声を聞き、問題に答えます。音声学習 - Ex.5B:問題を解きます。
16	3.3	Company performance	Page 32	- Lead-in: Ex.1Aの質問に答えます。Ex.1B: 質問に答えます。 - Ex.2A, B, C: 意味理解

17	3.4	Work skills: How did it go?	Page 34	- Lead-in: Ex.1A, 1Bの題を解きます。 - VIDEO: 音声学習 Ex.2A、2B、2C、Ex.3Aの問題を解きます。
18	3.4	Work skills: How did it go?	Page 36 & 116	- Speaking: "TALKING ABOUT PROJECTS"の意味理解をします。 Ex.4A: 問題を解きます。 Ex.4B: p.116を見て意味理解をします。次にこれをEx.4Bにあるような会話(ダイアログ)を作ってみましょう。ちょっと難しいかもしれませんが挑戦してみてくださいね。
19	3.5	Business workshop: Our first year	Page 36, 118 & 125	- Ex.4: p.118の該当箇所(Business workshop3)を参照します。あなたはStudentA,講師はStudentB(p.125)をやります。StudentAの問題を解いて準備しておきます。
20	4.1	I'm flying to Tokyo tomorrow	Page 39 & 121	- VIDEO: 音声学習 - Ex.5A、B、C: 問題を解きます。
21	4.2	The 12.05 is delayed	Page 40, 41	- Lead-in: Ex.1 - Ex.3A 音声学習をし、Ex.3B、C、Dの問題を解きます。
22	4.3	An update email	Page 42	- Lead-in: Ex.1 - Ex.2: A、B、Cの問題を解きます。
23	4.4	Work skills: Setting up a video call	Page 44	- VIDEO: 音声学習 Ex.2A、B、Cを解きます。
24	4.4	Work skills: Setting up a video call	Page 46	- VIDEO: - Ex.3A: ここではまず、音声なしで映像だけ観ます。図を参考にしましょう。映像を元に、どのような会話をしているのかを考え、ダイアログにします。 - Ex.3B: 音声ありで会話を確認しましょう。自分の書いたダイアログと比較します。レッスンではどのようなダイアログを書いたかを聞かれますので答えられるように準備しましょう。
25	4.5	Business workshop: A business trip	Page 46	- Ex.4: 音声学習、問いに答えます。
26	5.1	Trade shows and exhibitions	Page 49	- VIDEO: 音声学習 Ex.7A、B、C: 問題を解きます。
27	5.2	Phoning about a conference	Page 50	- Ex.3A: 問題を解きます。 - Ex5:6(p.122, 125参照の意味理解
28	5.3	Invitations	Page 52	- Lead-in: Ex.1の問いに答えます。 - Ex.2: 意味理解をし、問題に答えます。 - Ex.3: 問題に答えます。
29	5.4	Work skills: Socialising with clients	Page 54	- VIDEO: 音声学習 Ex.2-5を解きます。
30	5.4	Work skills: Socialising with clients	Page 55	- Speaking: "Socialising with clients" のフレーズ(phrases)を意味理解。 Ex.6A, 6B:問題を解きます。 Ex.7: 問題を解きます。 Ex.8: ロールプレイの準備をします。StudentA、B両方のダイアログを作成します。
31	5.5	Business workshop: The conference	Page 56	- Speaking:Ex.4A Ex.4B: p.120. 124の意味理解。
32	6.1	Future products	Page 59	- VIDEO: 音声学習 1. Ex.6A、B:動画を観て問題を解きます。 2. Ex.6C: 自分がSpeaker1-4の意見にagree=同意するかどうか、その理由を含めてレッスンで言えるように準備します。
33	6.2	A problem with an order	Page 60, 61 & 121	- Lead-in: Ex.1A、1Bの問題に解答します。 - Speaking-Ex.5: 意味理解、p.121も同様。
34	6.3	The production process	Page 62, 63	- Lead-in: Ex.1の問題に解答します。 - Ex.5: 意味理解
35	6.4	Work skills: Placing an order	Page 64	- Lead-in: Ex.1の問題に解答します。 - VIDEO: 音声学習 Ex. 2, Ex. 3
36	6.4	Work skills: Placing an order	Page 65, 121 & 123	- Speaking: PLACING AN ORDERの意味理解 Ex.5: ロールプレイの準備をします。 p. 121 (Student A)、p. 123 (StudentB)
37	6.5	Business workshop: Buy natural	Page 66	- Speaking: Ex.3Aの意味理解をし、Ex.3Bを解きます。 Ex.4Aの問いに答えます。

38	7.1	Should I upgrade?	Page 68, 69	- Lead-in: Ex.1に解答します。 - VIDEO: 音声学習 Ex.9、10: 問題に解答します。
39	7.2	Services	Page 70, 71	- Lead-in: Ex.1に解答します。 - Listening 4B: 音声学習
40	7.3	The best providers	Page 72	- Lead-in: Ex.1に解答します。 - Ex.2: 意味理解 - Ex.3: 問題を解きます。
41	7.4	Work skills: Presentations	Page 74	- VIDEO: 音声学習 Ex.2A,B、Ex.3、Ex.4に解答します。
42	7.4	Work skills: Presentations	Page 75	- Speaking 1. PRESENTING:意味理解 2. Ex.4: 短いプレゼンを準備します。 3. Ex.5: 意味理解
43	7.5	Business workshop: The big contract	Page 76, 123 & 125	- Presentations Ex.2: p.123、125参照のうえ、問題に解答します。
44	8.1	Work experience	Page 78, 79	- Lead-in: Ex.1の問題を解きます。 - VIDEO: 音声学習 Ex.8A、B、Cの問題を解きます。
45	8.2	The best person for the job	Page 81	- Lead-in: Ex.1の問題を解きます。 - Listening: Ex.4Aの音声学習 Ex.4Bを解答します。
46	8.3	Professional profiles	Page 82	- Lead-in: Ex.1の問題を解きます。 - Ex.2 意味理解
47	8.4	Work skills: A job interview	Page 84	- VIDEO: 音声学習 1. Ex.2: 動画を観て問いに答えます。 2. Ex.3 3. Ex.4: 動画を観て問いに答えます。
48	8.4	Work skills: A job interview	Page 85, 124 & 126	- Speaking: JOB INTERVIEWの意味理解 Ex.5: p.124の意味理解
49	8.5	Business workshop: The interviewer and the candidate	Page 86	- Ex.1-4の問題を解きます。 - Ex.5: Student A(p.120)の意味理解
50	-	Wrap up the course	-	このコースのまとめとして、短いスピーチを準備してください。1-3分程度のものが良いでしょう。 以下の項目を含めてください。 1. 何を学ぶことができたか 2. 自身の振り返り、成果 3. 次の目標



リピーティングトレーニングの進め方

1、2を最低2回ずつ、うまくできるようになったらその後は3を何度も繰り返してトレーニングしましょう。



01

Eye shadowing

音声を聞きながら、スクリプトを目で追う作業です。「視覚情報(=目で見て理解できる)」と「聴覚情報(=聞いて理解できる)」のギャップを埋めることを目的とします。「連結=音がつながって聞こえる箇所(子音+母音/例: This is)」や、「脱落=音が聞こえなくなる箇所(子音+子音/例: get there)」に特に注意しながらスクリプトを目で追います。事前に内容は理解できているので英文を頭から読んで、その順序で理解することを目指します。



02

Lip-syncing

スピードに慣れるトレーニングです。「言えないスピードは聞き取れない」です。音声スピードを自分でも再生できるようになることで、そのスピードを聞き取ることができるようになります。音声にあわせ、スクリプトを「口パク」します。声は出さずに、口だけ動かす作業です。声を出さなくても口がまわらない箇所があるはずですが、そこはリスニングがややふやな箇所なので、その部分だけでも「口パク」します。



03

Overlapping

いよいよ音声に合わせて声を出します。全ての単語を声に出そうと思わなくても大丈夫です。英語の文章には、「強の語」と呼ばれる、文章の意味を左右する語と、それ以外が存在します。“I ... working ... this company ... twenty... years.” これだけ聞けば文章の大意を取ることができますね。このような語が「強の語」です。Overlappingでは、「強の語」だけでも口に出すようにしてスピードについていきます。最終的には音声に合わせて声を出すことが目標です。同じ音声を繰り返し、徹底してトレーニングします。オーバーラップで気を付けることは3点です。

1. **スピード:** 英語は強弱=リズムで話しているので日本語に比べて早いので、そのスピードに慣れていきます。
2. **発音:** 正しい発音でアウトプットします。このテキストはイギリス英語がメインですが、その発音そのまま、でなくても大丈夫です。
3. **リズム/ピッチ:** 英語は「リズムの言語」です。強弱を意識します。比較的フラットな言語の日本語話者である私たちには慣れていないリズムなので、最初はややオーバーに強弱をつけると良いでしょう。

このレベルではこのOverlappingがメインのトレーニングです。



04

Shadowing

ここではスクリプトを見ずに音声のみを聞きながらそれを真似して発音します。シャドーイングは、聞こえてくる英文のすぐ後ろを影(shadow)のように追いかけますが、リピーティングは音声の流れの後、リピートします。シャドウイングと違ってリテンション力が必要になること、自分の発生音がしっかり聞こえることから、トレーニングの精度を高めるにはシャドウイングより適しています。これを徹底的にやれば、リスニング力は確実に上がります。